





事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：中川博夫 副会長：唐澤千明 幹事：池上幸平

 <p>世界へのプレゼントになろう</p>	<p>2015-2016 国際ロータリーのテーマ 世界へのプレゼントになろう Be a gift to the world</p>	<p>2015-2016 RI会長 K.R.“ラビ”ラビンドラン スリランカ</p>	
<p>第1340回 例会 平成28年1月26日(火)</p>			

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 翔け 中央ロータリー 池田幸平ソングリーダー



■ 会長談話 中川博夫会長



誰かに話したくなる着物にまつわる話をしますので、何かの時に使っていただければと思います。

「袂を分かつ」という言葉があります。昔は、袂には魂が宿ると信じられており、好きな相手に対して袖を振ることで相手の魂を呼び込めるとされていました。ですから、結婚すると袖を振る必要がなくなるので、振袖の袖を短く仕立て直して留袖にし、結婚により親と別れることを「袂を分かつ」というようになり、「考え方や価値観の違いから今まで一緒に行動を共にしてきた人と別れること」として使います。

また、「無い袖は振れない」と言いますね。これは、袖は財布を入れるところですから、袖の下を通すと言う言葉もあります。ですから、お金を要求されても無いものはない、ということです。また、

「袖にするとはい、両手を袖に入れて何もしないか、袖を振って追い払うことからきています。では、袖って何であるのでしょうか？ あれは、高貴な方は働かなくても良いので、優雅なデザインとして付いているのです。誰かに見せびらかすために、季節によって柄のある場所を決め、着物の格を競い合うために必要なのです。ですから、働く人の着物は、邪魔な袖など付いていません。「こきぎりこの丈は7寸5分じゃ、長い袖のからかいじゃ」と歌っています。

それでは、裾はどうでしょう。平安貴族や江戸時代の大奥の着物の裾は異常に長いですよ。あれは、自分は身分が高いので下々のように働かなくても良いという象徴として長いのか？ それとも、三歩下がって後に続けということか、はたまた、自分は財力があるから余分に高価な布を使うことができる？ とでも言いたいのか？ どうでも良いのですが、・・・・。

裾は着物の末端部分なので、重要でないものを分け与える、上位の者が下位の者に分け与えるという意味で使っていました。ですから、お裾分けの場合は、「つまらないものですが、・・・・」と言って差し上げます。これは、重要でないものをあげるのですから、意味としては合っています。ただし、お土産として持参する場合は避けたほうが良いと思います。つまらない物をいただいてうれしい人はいませんので、「心ばかりのものですが」、「ほんの気持ちですが」と言うのが正しいと思います。

あと、「一張羅」という言葉も良く使いますよね。これは、ロウソクや刀剣、鍬、鍬などの細長いものを数える単位を「挺」と言います。かつてロウソクはとても貴重なものだったので、ロウソクが一本しかないことを「いっちょうろう」と言って大事にしました。この「いっちょうろう」が訛って「いっちょうら」になり、持っている服の最も上等な服を「一張羅」と言うようになりました。

■ 伝達式

国際ロータリー会員表彰担当チームより、
新会員を推薦した中川博夫会員と熊谷健会員に認証品が贈呈されました。



■ ニコニコボックス

◆ 中川博夫

本日の例会、都合により「卓話」の内容が変わります。

◆ 池上幸平

とても寒いですね。今朝、会社の温度計はマイナス13℃でした。水道も凍ってしまいます。体に気をつけてくださいませ。

◆ 熊谷健

先日の母の葬儀の折には、会員の皆様にはご弔問いただき又、過分なご厚志ををいただきまして心より御礼申し上げます。無事に葬儀を終えられましたこと、皆様に心から感謝申し上げます。

◆ 唐澤稔

先日の寒さで水道の一部を凍らせてしまいました。タコ配線で一部が抜けてしまい・・・。

■ 幹事報告

池上幸平幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・1月21日（木）伊那まつりプロジェクトチーム会議の報告 矢野昌史会員



通算60回となる伊那まつり記念事業プロジェクトチームの第2回会議内容について矢野会員より報告がありました。

・1月22日（金）上伊那グループ会長・幹事会の報告 池上幸平幹事



I.M.プログラムの説明と参加要請をいただきました。

「これからのロータリー」を主題に8分位で各ロータリークラブの発表をお願いしたい、との事です。

■ 出席報告

会員数37名 出席免除会員7名 長欠会員2名 本日出席者23名 事前メイク0名
出席率71.88% 前回出席率 修正なし

■ 会員卓話

中川博夫会長



本日の卓話は、都合により急遽内容変更となります。そのような場合、何をしたら良いかと考えた結果、私立中学校の入試問題を隣の人と話し合いながら解けば、今までと違ったコミュニケーションを図れるのではないかと思います。早速作り直しました。

これを小6の子が解くのかと思いますが、違った角度でアプローチすると、意外と「なるほどな」と思う問題もあります。国語、算数、理科、社会とありますので、得意な教科を解き、硬くなった頭を柔らかくしてください。

最近、自修館中等教育学校【国語】のように文章を作る問題が多くなっています。この場合は、5WIHが明確になっているかが評価のポイントになります。実践女子学園中学【社会】もそうですが、正解はありません。自分の考えを相手に伝えるように書かなくてはなりません。

